



## 待降節から降誕祭、2018年

「マラナタ」(主イエスよ、来てください。)

最も親愛なる姉妹の皆様

秋は、人とは何であるかについて思いめぐらす季節です。私たちは、毎年、この季節になると、枯れ葉となって舞い落ちてくる落葉の光景を目にし、私たちの人生について考えさせられます。時は訪れ、去りゆくことを...

待降節の最初の日曜日、新しい典礼暦が始まります。今年は C 年で朗読されるのは、ルカ福音書です。教会は、典礼年が次の典礼年へと移っていく瞬間を新たなる感動をもって迎えます。このような強力な時期を歓迎します。私たちは、私たちの行く手を見据えるために、次のような問いかけをします。私たちは、何者でしょうか。どこから来て、そして、どこに行くのでしょうか。

メシアの到来によって実現されることへの新たなる期待に応じて、福音のメッセージは、世の終わりにキリストが栄光の姿で再臨するという新しい意義を与えてくれます。天の力が揺さぶられ、そこで雲の中から、人の子が偉大なる力と栄光をもって来られるのを私たちは見るでしょう。大きな爆音の中に慰めと希望がもたらされます。創造主である神との出会いに向かって歩いており、その神は、私たちの親以上に私たちを愛してくださいます。

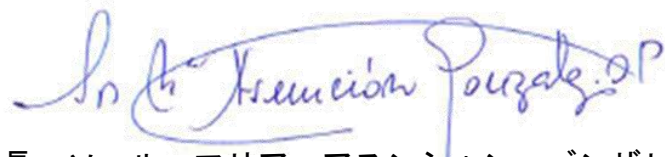
聖パウロは、コリント人への第二の手紙の終わりに、初期のキリスト者共同体で生まれた祈り、「マラナタ」(主よ、来てください。)を繰り返します。また私たちは、正しい仕方、初期のキリスト者のように言うことができます。「主イエスよ、来てください。」今、世の終わりが来ることを私たちは、望みませんが、この不正義な世界が、いつか終わるのは明らかです。私たちは、世界が大きく変わり、愛の文明が始まり、暴力も飢餓もない正義と平和の世界に到着することを望んでいます。私たちは、これらすべてのことを望んでいます。キリストの実存がなければどうなるのでしょうか。キリストの実存がなければ、まさに真実であり、再生された世界は、決して訪れないでしょう。そして別の手段ではありますが、私たちは、急務として、また現代の状況下において、次のように言うことができます。神が知っている方法で、私たちの世界に「主イエスよ、来てください。」不公正と暴力があるところに来てください。世界のいたるところにある難民キャンプに来てください。麻薬が支配しているところに来てください。神を忘れ、自分のことのみにとらわれて、富を誇っている人たちの間に来てください。神を知らない人のところに来てください。私たちの世界に来て、今日の世界を新たにしてください。私たちの心に来て、

また私たちの生活の中に入り、新たにしてください。私たち自身が神の光、神の現存になることができるよう私たちの心に来てください。この意味において、私たちは聖パウロと共に祈っています。「マラナタ」（主イエスよ、来てください。）

この典礼期間中、私たちは特別なやり方で、神の母であり、私たちの母としての聖母マリアを祝っています。彼女のように私たちも、この世における神の御子の存在の運搬者になることを願っています。

待降節と降誕祭おめでとうございます。

姉妹的抱擁と私の祈りを添えて…。



総長 ソール マリア・アスンシオン ゴンザレス, O.P.